

屋内専用

レンタル品

NEC

NWA-A20681-001-00
2025年12月



技術基準適合認証品

Aterm® HY01

お使いになる前に

本書は、読んだあと大切に保管してください。

このたびは本商品をご利用いただき、まことにありがとうございます。



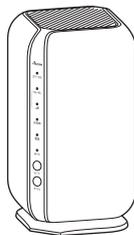
本商品のマニュアルは、本書の他にホームページに掲載している「機能詳細ガイド」があります。左記QRコードまたは下記から参照してください。
<https://www.aterm.jp/function/hy01/>（2025年12月現在）

- 本商品は5G/4Gネットワークや光回線を使ったインターネット接続、および固定電話サービスを利用することができます。
- 本商品は定期的にセンター装置と自動通信をおこない、新しいファームウェアを取得するなど、最適な状態に保つ機能を持っています。常時電源を入れてお使いください。
- お客さま宅内で接続されている通信設備などの影響により、最大通信速度が当初より得られない場合や、通信速度が変動する状態または通信が利用できない状態となる場合があります。
- インターネットをご利用の場合、ネットワークを介して外部からの不正侵入および情報搾取などの危険が増えます。必要に応じて、お客さまのパソコン上にファイアウォールのソフトウェアをインストールするなどの対応をお願いします。

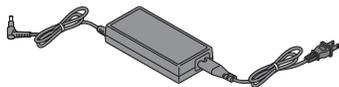
箱の中身を確認する

<本体>

HY01（1台、黒色）



ACアダプタ（一式）



※電源コードは、ACアダプタに奥まで確実に差し込んでお使いください。

<添付品>

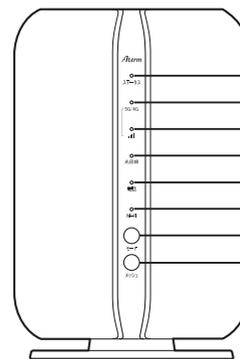
LANケーブル（1本、白色、Cat6a STP）
（長さ：約1.5m）



お使いになる前に（本書）

各部の名称と機能

■前面



ステータスランプ
5G/4Gランプ
電波強度ランプ
光回線ランプ
電話ランプ
Wi-Fiランプ
モードボタン
メッシュボタン

ランプの名称	表示（色）		機能説明
ステータスランプ	緑	点灯	通信ができる状態です。
		点滅	起動準備中です。
	橙	点灯	本商品とセンター間で通信準備中です。
		点滅	設定情報を保存しています。
	赤	点灯	本商品とセンター間で通信準備中です。
5G/4Gランプ	緑	点灯	「スタンダードモード」です。
	橙	点灯	「プラスエリアモード」です。 ^{*1}
		点滅	データ通信量が超過しています。
	赤	点灯	SIMが無効な状態です。
	—	消灯	契約されていない、または手続き中です。
電波強度ランプ 	緑	点灯	5G/4G電波の受信レベルが良好な状態です。
	橙	点灯	5G/4G電波の受信レベルが弱い状態です。
	—	消灯	圏外の状態、または5G/4G回線が未接続の状態です。
光回線ランプ	緑	点灯	光回線でのインターネット接続ができる状態です。
		点滅	光回線でのインターネット接続ができない状態です。（アドレス未取得）
	橙	点灯	LANポートでネットワークループを検出しました。
		点滅	光回線でのインターネット接続ができない状態です。
—	消灯	光回線のネットサービス非提供または手続き中です。	
電話ランプ	緑	点灯	電話サービスが利用できます。
	赤	点灯	電話サービスが利用できません。
	—	消灯	電話サービスが契約されていない、または手続き中です。
Wi-Fiランプ	緑	点灯	無線LAN（Wi-Fi）機能が利用できます。
		点滅	無線LAN（Wi-Fi）でデータ送受信中です。
	橙	点灯	メッシュ中継機とメッシュボタンを使用した設定に成功しています。
		点滅	メッシュ中継機とメッシュボタンを使用した設定が起動中です。
	赤	点灯	DFS ^{*2} 動作中です。
		点滅	メッシュ中継機とメッシュボタンを使用した設定に失敗しています。
—	消灯	無線LAN（Wi-Fi）機能が利用できません。	

名称	機能説明
モードボタン	長押しで「スタンダードモード」と「プラスエリアモード」を切り替えることができます。 ^{*1}
メッシュボタン	長押しでメッシュ中継機と無線LAN（Wi-Fi）接続設定する際に使用します。 ^{*3}

※1 「プラスエリアモード」に切り替えると、通信速度制限がかかる場合がありますので、ご注意ください。

※2 DFS（Dynamic Frequency Selection）

DFSとは、気象レーダーや船舶レーダーなどが使用しているチャンネルを検出する機能です。本商品では、レーダーが使用しているチャンネルを検出した場合、干渉しないチャンネルへ自動的に変更します。

※3 本商品はメッシュボタンによるスマートフォンなどの無線LAN端末（Wi-Fi子機）との接続をサポートしておりません。お使いの機器によって使用できない場合があります。

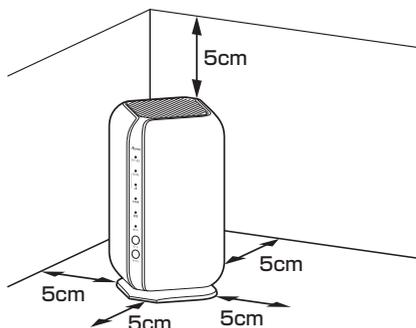
設置して電源を入れる

設置する

本商品は、縦置き専用です。必ずスタンドを下側にして設置してください。

- 前後左右 5cm、上 5cm 以内に、パソコンや壁などのものがない場所に設置してください。
- 見通しの良い窓のある部屋など、できるだけ電波強度ランプが緑点灯する場所に設置してください。
- 金属・スチール製のラック内、閉鎖された棚の中には設置しないでください。

実際の設置・接続については、KDDI やご契約のプロバイダから提供される送付物を参照してください。



電源を入れる

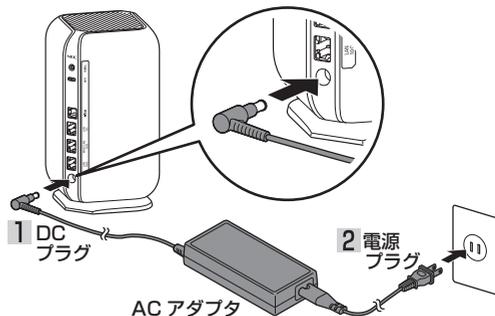
AC アダプタの DC プラグを本商品に接続し、電源プラグをコンセントに接続します。

1 本商品の AC アダプタ接続コネクタに DC プラグを接続する

- 奥までまっすぐ差し込んでください。

2 電源プラグをコンセントに差し込む

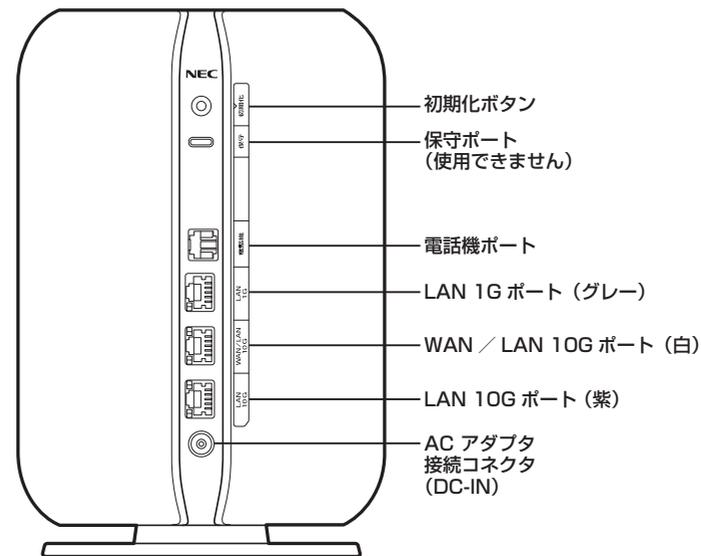
- 起動するまで約 120 秒かかります。
- ※起動準備中はステータスランプが緑点滅します。



お知らせ

- 電源を切るときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 最新のファームウェアが存在する場合、インターネットを介して自動的にファームウェアを更新します。クイック設定 Web から更新することもできます。(●「機能詳細ガイド」)

■背面



名称	機能説明
初期化ボタン	初期化する際に使用します。(●本書内「初期化方法」)
保守ポート	保守用のため使用できません。接続しないでください。
電話機ポート	電話ケーブルを使用して電話機に接続するためのポートです。
LAN 1G ポート (グレー)	LAN ケーブルを使用して、パソコンなどの端末と接続するためのポートです。(100BASE-T/100BASE-TX) ※ Cat5e 以上
WAN / LAN 10G ポート (白)	LAN ケーブルを使用して、プロバイダ提供機器またはパソコンなどの端末と接続するためのポートです。(10GBASE-T/5GBASE-T/2.5GBASE-T/1000BASE-T/100BASE-TX) ※ Cat6a 以上、STP ケーブル推奨
LAN 10G ポート (紫)	LAN ケーブルを使用して、パソコンなどの端末と接続するためのポートです。(10GBASE-T/5GBASE-T/2.5GBASE-T/1000BASE-T/100BASE-TX) ※ Cat6a 以上、STP ケーブル推奨
AC アダプタ接続コネクタ (DC-IN)	HY01 用 AC アダプタを接続します。

ランプの名称	表示 (色)		機能説明
LAN 1G ポート (グレー) 状態表示ランプ	緑 (LINK)	点灯	LAN 上の機器 (パソコンなど) とのリンクが確立しています。
		点滅	データ送受信中です。
		消灯	LAN 上の機器 (パソコンなど) とのリンクが確立していません。
WAN / LAN 10G ポート (白) LAN 10G ポート (紫) 状態表示ランプ	橙 (SPEED)	点灯	リンク速度 (10Gbps/5Gbps/2.5Gbps) で接続中です。
		消灯	リンク速度 (1Gbps/100Mbps) で接続中、または接続できない状態です。
	緑 (LINK)	点灯	WAN または LAN 上の機器 (パソコンなど) とのリンクが確立しています。
		点滅	データ送受信中です。
		消灯	WAN または LAN 上の機器 (パソコンなど) とのリンクが確立していません。

無線 LAN (Wi-Fi) 端末を接続する

本商品とスマートフォンなどの無線 LAN 端末 (Wi-Fi 子機) を以下の方法で接続することができます。

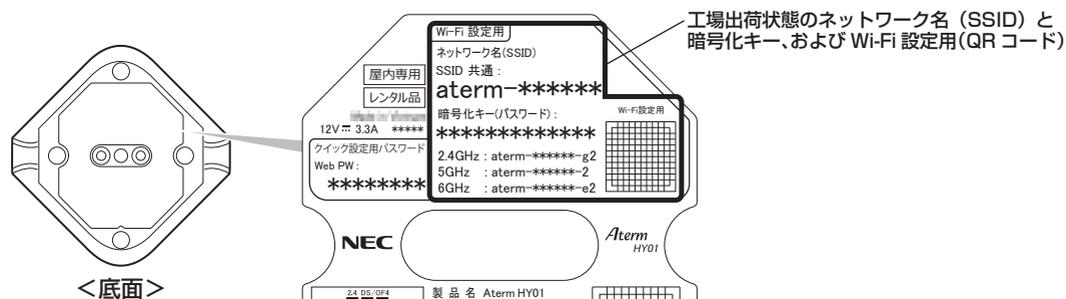
< QR コードを読み取って接続する >

スマートフォン / タブレット端末の場合は、本商品底面のラベルに記載されている Wi-Fi 設定用 (QR コード) を、ご利用のスマートフォン / タブレット端末の標準カメラアプリなどで読み取り、表示される画面にしたがって設定してください。

< 手動で接続する >

無線 LAN 端末 (Wi-Fi 子機) を手動で接続する場合は、ご利用の無線 LAN 端末 (Wi-Fi 子機) に本商品底面のラベルに記載されているネットワーク名 (SSID) を選択し、暗号化キー (パスワード) を入力してください。

詳細は無線 LAN 端末 (Wi-Fi 子機) の取扱説明書などを参照してください。



● ネットワーク名 (SSID)

ご利用の無線 LAN 端末 (Wi-Fi 子機) から、本商品 (親機) のネットワーク名 (SSID) を選択します。
※本商品 (親機) には、ラベルに記載された 6GHz 帯 / 5GHz 帯 / 2.4GHz 帯共通の SSID (バンドステアリング用)、プライマリ SSID の他に、訪問者などに一時的な使用を許可する場合のセカンダリ SSID があります。

なお、セカンダリ SSID は、工場出荷状態で無効に設定されています。

※ 6GHz 帯は Wi-Fi パック (有料) にお申込みいただくことでご利用いただけます。

● 暗号化キー (パスワード)

暗号化キーとは、無線 LAN (Wi-Fi) 接続するためのパスワードです。セキュリティキー、パスフレーズ、ネットワークキーなどとも呼ばれます。

選択したネットワーク名 (SSID) で使用している暗号化キー (パスワード) を入力します。工場出荷状態の値は、半角英数字 (0 ~ 9、a ~ f) を使用した 13 桁です。

※セカンダリ SSID の工場出荷状態の暗号化キー (パスワード) は、クイック設定 Web で確認してください。

その他、接続方法など詳細は「機能詳細ガイド」を参照してください。

上記以外の詳しい接続設定について

電話サービスや光回線での接続方法など、詳細は KDDI やご契約のプロバイダから提供される送付物を参照してください。

クイック設定 Web のご利用について

本商品に接続されているパソコンやスマートフォンなどから Web ブラウザを使用してクイック設定 Web を起動し、本商品の設定変更や状態確認をおこないます。クイック設定 Web の詳しい使いかたは、「機能詳細ガイド」を参照してください。

クイック設定 Web の起動方法

1 Web ブラウザのアドレス欄に「http://192.168.0.1/」を入力して起動する

2 「接続端末 情報画面」が表示されたら、[ログイン画面へ] をクリックする

3 「初期パスワード入力」画面が表示された場合は、本商品底面のラベルに記載された英数字 8 桁のクイック設定用パスワード (Web PW) を入力し、[次へ] をクリックする

※この画面は初期パスワードが変更されていない場合にのみ表示されます。



4 新しく設定するパスワードを入力し、[パスワード変更] をクリックする

●本商品をより安全にお使いいただくために、クイック設定用パスワード (Web PW) を初期パスワードから変更してください。複雑で長い文字列にして、安全性を高めることをお勧めします。

●パスワードは、本商品を設定する場合に必要となりますので、控えておいてください。忘れた場合は、設定画面を開くことができず、本商品を初期化 (●本書内「初期化方法」) してすべての設定がやり直しになります。



パスワードメモ欄
(パスワードはこちらに控えておいてください。)

5 [ログイン] をクリックすると、クイック設定 Web のホーム画面が表示される

通信モードについて

本商品は 5G/4G ネットワークを利用してデータ通信をおこなうことができます。

ご利用になる際は、以下の通信モードを選択いただけます。

各通信モードの選択、設定方法については、「機能詳細ガイド」を参照してください。

スタンダードモード	5G、または 4G ネットワークに接続します。
プラスエリアモード	5G、または 4G ネットワークに接続します。 「スタンダードモード」より広いエリアでの通信が可能となります。

※工場出荷状態の設定は「プラスエリアモード」です。通信速度制限がかかる場合がありますので、ご注意ください。

トラブルシューティング

ご利用にあたって考えられる代表的なトラブルとその対処を記載しています。トラブルが起きたときは、電源の入れ直し、またはクイック設定 Web から再起動（☛「機能詳細ガイド」）して、症状が改善されるか確認してください。解決しない場合は「機能詳細ガイド」の「トラブルシューティング」を参照してください。それでも解決しない場合は、本商品を初期化（☛本書内「初期化方法」）し、はじめから設定し直してお試しください。

※無線 LAN（Wi-Fi）をご利用の場合のトラブルについては、お使いの機器（パソコンやスマートフォンなど）に添付の取扱説明書などを参照してください。

■ 電源が入らない

- 電源コードが破損していないか確認してください。破損している場合はすぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電源を入れる場合は、以下の手順でおこなってください。
 - ①本商品に電源以外のケーブルが接続されていることを確認する
※接続については KDDI やご契約のプロバイダから提供される送付物を参照してください。
 - ②本商品に AC アダプタの DC プラグを接続する
 - ③電源プラグをコンセントに接続する
- 電源を切る場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 本商品は精密機器です。短時間の電源の入れ直し操作は電源部に負担をかけます。電源を 1 回切ったあと、再び電源を入れるときは、10 秒以上お待ちください。
- 装置の温度状態を監視して、高温になると起動しない場合があります。本書内「設置する」を参照して、お客さまの設置環境を確認してください。

■ 5G、または 4G ネットワークに接続している場合にインターネットに接続できない

- 電波状態が良くない場合があります。電波状態の良い場所に設置してもう一度接続してください。
- 時間帯によって接続先が混雑している可能性もありますので、しばらくしてからもう一度接続してください。

■ 光回線ランプが緑点灯しない

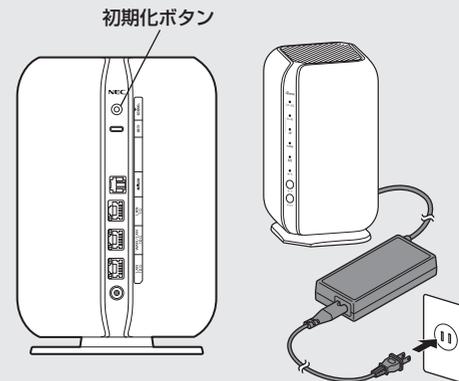
- 光回線ランプが橙点灯している場合は、LAN ポートでネットワークループを検出しています。LAN ポートから LAN ケーブルを抜いて、10 秒以上の間隔をあけてから電源を入れ直してください。ネットワークループを解消したうえで、LAN ポートに LAN ケーブルを接続してください。
- 光回線ランプが橙点滅または緑点滅してインターネット接続に失敗する場合は、本商品の電源を入れ直してください。短時間の電源の入れ直し操作は電源部に負担をかけるため、電源を切ったあと、10 秒以上の間隔をあけてから電源を入れてください。

初期化方法

初期化とは、本商品に設定した内容を消去して工場出荷状態に戻すことをいいます。

本商品がうまく動作しない場合は、本商品を初期化することをお勧めします。いったん初期化すると、それまでに設定した値はすべて消去され、工場出荷状態に戻りますのでご注意ください。

- 1 本商品の電源プラグをコンセントから抜いて、10 秒以上待つ
- 2 本商品背面の初期化ボタンを押しながら、電源プラグをコンセントに差し込む
約 30 秒後、前面のすべてのランプが同時に 3 回緑点滅したら、初期化ボタンから手を放してください。
※初期化が完了するまでは本商品の電源を絶対に切らないでください。故障の原因となります。
- 3 ステータスランプが緑点滅したら、初期化完了



以上で、初期化は完了です。



お知らせ

- クイック設定 Web の「ハイブリッドルータ詳細設定」 - 「6. メンテナンス」 - 「設定値の初期化」で初期化することもできます。

本商品のご利用について

- ・通信中は、身体から20cm以上離し、かつその間に金属（部分）が含まれないようにしてください。
 - ・サービスエリア内でも電波の届かない場所（地下など）では通信できません。また、電波状態の悪い場所では通信できないこともあります。
 - ・本商品は電波を使用しているため、第三者に通信を傍受される可能性がないとはいえませんので、ご注意ください。（ただし、5G/4G方式は通信上の高い秘話・秘匿機能を備えています。）
 - ・本商品は国内でのご利用を前提としています。国外に持ち出しての使用はできません。（This Product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.）
 - ・本商品は電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受ける場合があります。その際にはお使いの本商品を一時的に検査のためご提供いただく場合がございます。
 - ・地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客さまの故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社はいっさい責任を負いません。
 - ・本商品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（記録内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など）に関して、当社はいっさい責任を負いません。
 - ・本書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社はいっさい責任を負いません。
 - ・当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社はいっさい責任を負いません。
 - ・本商品ではご利用いただけません。通話・通信先ができません。
 - ・一部機器では、FAXの送受信ができません場合があります。
 - ・固定回線と比べてFAXの受信が遅い場合があります。
 - ・日本国内の緊急機関に接続する場合は、VoLTE電話（5G/4Gネットワーク）を利用します。
 - ・本商品は警察・消防機関・海上保安本部への緊急通報の際、市外局番から始まるご契約の電話番号ではなく、070から始まる緊急通報専用電話番号（専用アダプタ番号）とお客さまのおおよその発信場所が緊急通報先に通知されます。
 - ・本商品は蓄積型FAXの仕組みを採用しているため、送信から受信までに時間差が発生します。FAX送信元が送信完了しても、受信は同時には完了しません。ビジネス用途などでFAXおよび電話を頻繁にご利用になる場合、FAXや電話の処理が競合し、FAXが正常に受信できない場合があります。
 - ・電話機能 / 受話器の付いていないコピー、プリンター、FAXなどの複数の機能を有する機器（複合機）のFAX機能はご利用いただけません。
 - ・FAX付き電話機のFAX受信専用モードはご利用いただけません。FAX付き電話機のFAX受信専用モードを解除してご利用ください。
- ※本書で表す「当社」とは、ご契約のプロバイダおよび製造元（NECプラットフォームズ株式会社）をさします。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

ここでは、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくための内容を記載していますので、必ずお守りください。その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。なお、さらに詳細な内容を「機能詳細ガイド」に記載しておりますので、そちらもあわせてお読みください。

本書中のマーク説明

- 警告** : 人が死亡する、または重傷^(※1)を負う可能性が想定される内容を示しています。
- 注意** : 人が軽傷^(※2)を負う可能性が想定される内容、および物的損害^(※3)のみが発生が想定される内容を示しています。
- お願い** : 本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。

(※1) 重傷: 失明、けが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るものおよび治療に入院や長期の通院を要するものをさしています。
(※2) 軽傷: 治療に入院や長期の通院を要さないけが、やけど、感電などをさしています。
(※3) 物的損害: 家屋、家財および家畜、ペットなどにかかわる拡大損害をさしています。

図記号の説明

■ 警告・注意を促す記号



一般注意 発火注意 感電注意



高温注意 破裂注意

■ 行為を禁止する記号



一般禁止 分解禁止 ぬれ手禁止



水ぬれ禁止 風呂等での使用禁止 火気禁止

■ 行為を指示する記号



一般指示 電源プラグをコンセントから抜く

警告

電源

- 100V AC の家庭用電源以外では絶対に使用しないでください。また、差し込み口が2つ以上ある壁の電源コンセントに他の電気製品の電源プラグを差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したりしないでください。
- AC アダプタは、たこ足配線にしないでください。
- AC アダプタおよび電源コードは、必ず本商品に添付のものをお使いください。また、本商品に添付のACアダプタおよび電源コードは、他の製品に使用しないでください。
- 本商品に添付のACアダプタおよび電源コードは、必ず一体で使用し、他のACアダプタや電源コードを組み合わせで使用しないでください。
- AC アダプタにものをのせたり布を掛けたりしないでください。
- 本商品に添付のACアダプタは日本国内100V AC (50/60Hz) の電源専用です。他の電源では使用しないでください。
- ACアダプタは風通しの悪い狭い場所（収納棚や本棚の後ろなど）に設置しないでください。また、ACアダプタは、電源コンセントの近くに設置し、容易に抜き差し可能な状態でご使用ください。
- ACアダプタ本体が宙吊りにならないよう設置してください。
- ACアダプタをコンセントに差し込んだ状態で、ACアダプタに強い衝撃や無理な力を与えたり、ねじったりしないで、まっすぐ抜き差ししてください。特に、回転式の抜け止め型コンセントへ抜き差しする場合には、無理な力をかけないように注意してください。



こんなときは（本体およびACアダプタ）

以下の場合、すぐに本商品のACアダプタをコンセントから抜いてください。お客さまによる修理は危険ですから絶対におやめください。また、c、d、eのような使いかたはしないでください。

- a. 煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のとき
- b. 電源コードが傷んだ状態（芯線の露出・断線など）のとき
- c. 本商品を水や海水につけたり、ぬらしたとき



● 本商品の使用中、長時間にわたり一定箇所を触れたままになっていると低温やけどを起こす可能性があります。



● KDDI やご契約のプロバイダから提供される送付物にしたがって接続してください。間違えると接続機器や回線設備が故障することがあります。



STOP お願い

設置場所（本体および添付品）

- 本商品を安全に正しくお使いいただくために、次のようなところへの設置は避けてください。
 - ・振動が多い場所
 - ・気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
 - ・電気製品・AV・OA 機器などの磁気を帯びている場所や電磁波が発生している場所（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）
 - ・高周波雑音を発生する高周波マシン、電気溶接機などが近くにある場所
- 本商品をコードレス電話機やテレビ、ラジオなどの近くで使用すると、コードレス電話機の通話にノイズが入ったり、テレビ画面が乱れるなど受信障害の原因となることがあります。このような場合は、お互いを数 m 以上離してお使いください。
- 本商品（親機）と無線 LAN 端末（子機）の距離が近すぎるとデータ通信でエラーが発生する場合があります。このような場合は、お互いを 1m 以上離してお使いください。

禁止事項（本体および添付品）

- 本商品の電源を入れたあと、すぐに電源を切らないでください。3 分以上の間隔をあけてから電源を切ってください。すぐに電源を切ると故障の原因となることがあります。
- 本商品の電源を切ったあと、すぐに電源を入れ直さないでください。10 秒以上の間隔をあけてから電源を入れてください。すぐに電源を入れると電源が入らなくなることがあります。

その他の注意事項（本体および AC アダプタ）

- 通信中に本商品の電源が切れたり、本商品を取り外したりすると、通信ができなくなり、データが壊れることがあります。
- 本商品プラスチック部品の一部が、光の具合によってはキズのように見える場合があります。プラスチック製品の製造過程で生じることがありますが、構造上および機能上は問題ありません。
- 消毒液や除菌シートなどを本商品の近くで使用しないでください。本商品内部に消毒液が入って、故障の原因となることがあります。

電話に関するご注意

- ご使用になる電話機は電気通信事業法の認証表示（技適マーク）「㊿」または「㊿」がついているものをご使用ください。本商品の電話機ポートは疑似的にアナログ電話回線と同等の環境を作っています。実際のアナログ電話回線とは異なるので通信機器によっては使用できない場合があります。また、本商品の電話機ポートには電話機のランチ接続はできません。

無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線 LAN アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

- 通信内容を盗み見られる
悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、ID やパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報、メールの内容等の通信内容を盗み見られる可能性があります。
- 不正に侵入される
悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）コンピュータウイルス等を流しデータやシステムを破壊する（破壊）等の行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN 製品は、セキュリティに関する仕組みを持っていますので、その設定を行って製品を使用することで、上記問題が発生する可能性は少なくなります。

セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客さま自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。

セキュリティ対策をほどこさず、あるいは、無線 LAN の仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社はこれによって生じた損害に対する責任は一切負いかねますのであらかじめご了承ください。

なお、無線 LAN をより安全にお使いいただくために、無線 LAN アクセスポイントの暗号化キー（パスワード）は初期値から変更してください。変更は、クイック設定 Web（● 本書内「クイック設定 Web のご利用について」）で行います。セキュリティ対策については、「機能詳細ガイド」を参照してください。

電波障害自主規制について

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。 VCCI - B

高調波電流抑制対策について

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品
※消費電力 75W 以下のため適合

本商品底面のラベルに記載の図記号説明

— — — : 直流

電波に関する注意事項

- 本商品は、技術基準適合証明を受けています。
- IEEE802.11be（6GHz 帯）、IEEE802.11ax（6GHz 帯）通信利用時は、6GHz 帯域の電波を使用しております。6GHz 帯域の電波の屋外での使用は電波法により禁じられています。
- 6GHz 帯で使用するチャンネルは、1, 5, 9, 13, 17, 21, 25, 29, 33, 37, 41, 45, 49, 53, 57, 61, 65, 69, 73, 77, 81, 85, 89, 93ch（6L）です。
- IEEE802.11be（5GHz 帯）、IEEE802.11ax（5GHz 帯）、IEEE802.11ac、IEEE802.11n（5GHz 帯）、IEEE802.11a 通信利用時は、5GHz 帯域の電波を使用しております。5.2GHz、5.3GHz 帯域の電波の屋外での使用は電波法により禁じられています。
- 5GHz 帯で使用するチャンネルは 36,40,44,48ch（W52）と 52,56,60,64ch（W53）と 100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140,144ch（W56）です。従来の IEEE802.11a で使用の 34,38,42,46ch（J52）の装置と IEEE802.11a モードでの通信はできません。

IEEE802.11a/n/ac/ax/be	<ul style="list-style-type: none">W52（5.2GHz 帯 /36,40,44,48ch）、 W53（5.3GHz 帯 /52,56,60,64ch）、 W56（5.6GHz 帯 /100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140,144ch） <p>が利用できます。</p>
-------------------------------------	--

5GHz 帯で接続する無線 LAN 端末（子機）は、以下の表示があるものを推奨します。

- ・ W52（5.2GHz 帯 /36,40,44,48ch）
- ・ W53（5.3GHz 帯 /52,56,60,64ch）
- ・ W56（5.6GHz 帯 /100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140,144ch）

- W53（52,56,60,64ch）または W56（100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140,144ch）を選択した場合は、法令により次のような制限事項があります。
 - ・各チャンネルの通信開始前に、1 分間のレーダー波検出を行いますので、その間は通信を行えません。
 - ・通信中にレーダー波を検出した場合は、自動的にチャンネルを変更しますので、通信が中断されることがあります。
- IEEE802.11be（2.4GHz 帯）、IEEE802.11ax（2.4GHz 帯）、IEEE802.11n（2.4GHz 帯）、IEEE802.11g、IEEE802.11b 通信利用時は、2.4GHz 帯域の電波を使用しており、この周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。
 - (1) 本商品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
 - (2) 万一、本商品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本商品の使用チャンネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
 - (3) その他、電波干渉の事例が発生し、お困りのことが起きた場合には、お問い合わせ先にご連絡ください。

- IEEE802.11be（2.4GHz 帯）、IEEE802.11ax（2.4GHz 帯）、IEEE802.11n（2.4GHz 帯）、IEEE802.11g、IEEE802.11b 通信利用時は、2.4GHz 全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。変調方式として DS-SS 方式および OFDM 方式を採用しており、与干渉距離は 40m です。

2.4 DS/OF4	<ul style="list-style-type: none">2.4：2.4GHz 帯を使用する無線設備を示す DS/OF：DS-SS 方式および OFDM 方式を示す 4：想定される干渉距離が 40m 以下であることを示す ■ ■ ■：全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する
-------------------------	--

- 本商品を 2.4GHz 帯で使用し、チャンネル設定を手動で行う場合は、一般社団法人 電波産業会の ARIB 規格により下記内容が推奨されています。

「この機器を 2.4GHz 帯で運用する場合、干渉低減や周波数利用効率向上のため、チャンネル設定として CH1,CH6,CH11 のいずれかにすることを推奨します。」

ただし、無線 LAN 以外のシステムとの干渉を避けるために、推奨の 1,6,11ch 以外を使用しなければならない場合はこの限りではありません。（使用チャンネルの設定方法は「機能詳細ガイド」を参照してください。）
- デュアルチャンネルを利用する場合は、同一周波数帯を使用する他の無線局に対して干渉を与える可能性があります。
 - ・デュアルチャンネルを「ON」に設定する場合には、周囲の電波状況を確認して他の無線局に電波干渉を与えないことを事前にお確かめください。
 - ・万一、他の無線局において電波干渉が発生した場合には、すぐに「OFF」に設定を変更してください。

本商品で使用しているソフトウェアについて

本商品には、GNU General Public License (GPL)、GNU Lesser General Public License (LGPL)、その他に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。お客さまは、GPL、LGPL に基づきライセンスされるソフトウェアのソースコードを入手し、複製、頒布および改変することができます。詳細は「機能詳細ガイド」を参照してください。

輸出する際の注意事項

本商品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり外国の規格などには準拠しておりません。本商品を日本国外で使用された場合、当社はいっさい責任を負いません。また、当社は本商品に関し海外での保守サービスおよび技術サポートなどは行っておりません。本商品の輸出（非居住者への役務提供等を含む）に際しては、外国為替及び外国貿易法等、関連する輸出管理法等をご確認の上、必要な手続きをお取りください。ご不明な場合、または輸出許可等申請手続きにあたり資料等が必要な場合には、ご契約のプロバイダのサービスセンターにご相談ください。

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載・無断複写することは禁止されています。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしました¹が、万一ご不審な点や誤り・記載もれなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
- (4) 本商品の故障・誤動作・天災・不具合あるいは停電などの外部要因によって通信などの機会を逸したために生じた損害などの純粹経済損失につきましては、当社はいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- (5) セキュリティ対策をほどこさず、あるいは、無線 LAN の仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社は、これによって生じた損害に対する責任はいっさい負いかねますのであらかじめご了承ください。
- (6) せっかくの機能も不適切な扱いや不測の事態（例えば落雷や漏電など）により故障してしまっ²ては能力を発揮できません。本書をよくお読みになり、記載されている注意事項を必ずお守りください。

お問い合わせ先

接続ができない、うまく設定ができない場合は、本書内「トラブルシューティング」をご参照のうえ、お問い合わせください。

- パソコンの設置や操作方法などについてのお問い合わせは、各パソコンのサポートセンターなどへお願いします。
- サービスのご利用に関するお問い合わせは、ご契約のプロバイダのサービスセンターにご連絡ください。

本商品の輸送時のお取り扱いについて

- 本商品はレンタル品です。故障やレンタルの解約などで、本商品を返却する場合には、ご契約のプロバイダからの案内にしたがい、本商品一式（添付品含む）をお送りください。また、輸送時の破損を防ぐために、本商品の箱・梱包材をご使用いただくか、またはエアキャップなどの緩衝材で梱包してください。
- 本商品は、お客さま固有の情報を本商品内に保存することができます。本商品内に保存された情報の流出による不測の損害などを回避するため、本商品を返却される際には、本商品内に保存された情報を消去してください。本商品内に保存された情報を消去するには、本商品を初期化（● 本書内「初期化方法」）してください。

■ Aterm は、NEC プラットフォームズ株式会社の登録商標です。
■ 「QR コード」は、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
■ その他、各会社名、各製品名およびサービス名などは各社の商標または登録商標です。
© NEC Platforms, Ltd. 2025
NEC プラットフォームズ株式会社の許可なく複製・改版、および複製物を配布することはできません。

製造元：NEC プラットフォームズ株式会社
Aterm HYO1 お使いになる前に 第 1 版